

令和3年度志木市立志木第三小学校 第2回 学校運営協議会議事録

1 日時 令和3年10月30日(土) 11:30~12:50

2 場所 志木市立志木第三小学校 展示室

3 出席者

宮原 一 市川裕美子 高橋敏次郎 渡辺 政男 三輪 武 湯本 恭規
谷 智博 中田 裕規 関根久美子 【事務局：加藤 健】 (計10名)

4 協議および質疑内容

(1) 会長の退任について

- 飯田昌利氏が志木市教育委員へ着任により、本校学校運営協議会会長を退任
- 今年度は、宮原一副会長が代行する

(2) 給食室改修工事の延長について

- 校長より説明
 - 追加で躯体工事(耐震補強)が必要であることから、3月末まで延長予定となり、それに伴い、仕出し弁当対応期間が延長となる。
- 質疑応答
 - お弁当について困っていることはあるか。
 - 味等について、保護者より意見をもらった。
 - 別の業者に変更する予定。
 - 今後も対応を柔軟に考えていきたい。

(3) 教育活動の報告及び児童の様子について

- 校長より説明
 - 5年生も野辺山宿泊学習に無事行ってきた。病気怪我なく、いい経験ができた。
 - コロナが少し落ち着いてきたのもあり、教育活動は感染対策・指導を継続しながら、徐々にできることを少しずつ戻しつつ行っている。持久走大会も実施予定である。
 - 先週も縁日集会を行った。子どもたちも楽しんで過ごすことができた。感染対策についても、活動の様子を見ながら安全に気をつけて行っていった。
- 質疑応答
 - 外遊び時のマスク着用はどのようにしているか。
 - 子どもたちは基本的にはマスクしている。着用については、苦しかったら外す等の指導を続けており、だいぶ慣れてきた。
 - 出席停止の状況はどうか。
 - 出席停止の基準・対応が定着してきている。家庭でも子どもだけでなく、同居家族の体調にも留意してもらっていて、適切に対応できている。

(4) 5年生におけるいじめの事案について

- 校長より説明(別紙資料による)
 - アンケートにより新たに認知したいじめ案件については、すべて指導および保護者への連絡も行った。

- すでに指導済の案件については、経過観察としている。
- 一定期間経過したため、別紙文書を学年で配付し報告とした。
- 質疑応答
 - アンケートはだれが書いたのか？
 - 子どもだけではなく、保護者もいっしょに考えて書いてほしいと依頼しているので、保護者が書いた内容も入っている。
 - 5年生のわが子が、「野辺山はすごく楽しかった！」と言っていた。心配も杞憂に終わっているような感がある。一保護者として感じている。
 - 記載された児童名に偏りはなかったか。
 - ほとんどは、アンケート実施に関わらず把握できていたものであった。新たに発見できた案件については、聞き取り→指導→連絡を行った。
 - 学校としても、些細な事にとらえずに、信頼して任せてもらえるように、今後も丁寧な耳を傾け、温かく見守っていく。
 - 生活アンケートの今後の実施予定、経過観察は。
 - 継続的・定期的実施している。昨年度も3学期にも実施している。
 - 指導の仕方は具体的にどのようにしているのか。
 - 事案にもよるが、一方の児童だけのみ話を聞くことはしない。必ず双方、さらには周囲の児童にも聞き取りをして、事実関係を把握した上で、指導をしている。

(5) 3学期の教育課程について

- 校長より説明
 - (全国学力・学習状況調査結果より) 全国・県と比較して、国語算数ともに概ね悪くない結果である。質問紙調査についても、今後分析を進めて教育課程に反映させる。
 - (学校行事計画より) 年度・次の学年に向けてまとめの時期となる。卒業式・修了式に向けて、日々の教育活動を充実させていく。
- 質疑応答
 - もちつきの「デモンストレーションのみ」とはどのような形か。
 - 感染防止の観点から、全体で行うのは中止。PTA本部として、行事運営の継承を目的として、限られた人数で簡易的に実施する予定である。
 - お茶会も今年度は実施していただく。PTA本部のみなさんにいろいろと対策ややり方を考えていただいて、少しずつ戻していけるようにしていく。

(6) その他

- 学校としては、今後少しずつ行事等も戻していく方向でいるのか。
 - コロナ禍でできなかったこともあるが、見直すきっかけになったもの、新たに始められたものもあった。内容を精査して、今の時代に一番いい形を考えていきたい。

5 次回の開催日程

令和4年1月28日(金) 11:00～ 場所：ランチルーム